

# 廃棄物処理場の管理運営の状況

## 大沢・山田地区で埋め立て処分

漁業廃棄物対策



生駒利治議員

**質問** 漁業廃棄物の処理

対策について次の点を問う。

①今年度より町が管理することとなったカキ殻などの廃棄物処理場の管理運営はどのようなになっているか。

②養殖業者が管理するそれぞれの仮置場の状況はどうなっているか。

**沼崎町長**

①処理場である旨の看板を設置し、施錠して立ち入りを制限している。貝殻の処理は、北地区に大沢漁協養殖業者の貝殻を、中地区に山田湾漁協養殖業者の貝殻を埋め立て処

分した。

②シーズン前のため殻の量も少なく、おおむね良好に管理されている。

**質問** 北地区と中地区の具体的な処理数量と手数料はどうであったか。

**内田水産振興主幹**

北地区の大沢漁協は三十二台で七万六千八百円、中地区の山田湾漁協では、七十台の十六万八千円でそれぞれ処理済であり、四ノ車一台あたり四千二百円であるが、昨年度の漁獲減で出荷量の低減という特殊事情を考慮して、手数料は割引して請求している。

### カキ殻処理

## カキ殻破碎機の活用状況

### 販売先の確保にめど

**質問** カキ殻処理対策について次の点を問う。

①織笠漁協で一部補助を受けて導入したカキ殻破碎機の性能と活用状況は。

②大沢漁協で計画していたカキ殻等堆肥施設計画の

進捗状況は。

**沼崎町長**

①機械は六月に納入され、破碎作業が行われている。機械の作業性は、若干改良の余地があるが、破碎された殻は細かく、満足

### 町の考えを聞く



織笠漁協で導入したカキ殻破碎機

できるレベルである。

販売先として紫波町の堆肥センターを考えており、紫波町でもカキ殻混入堆肥に期待して、試験用の殻を引き取りに来町している。町としても、紫波町の成功を期待するとともに、さらなる用途の開拓を支援したい。

②県単独事業の「岩手県産業・地域ゼロエミッション推進事業」に応募したが、採択されなかった。再度の応募に向け堆肥の試作に取り組んでいる。